

2023年度児童発達支援事業所における自己評価結果

	チェック項目	はい	いいえ	その他	「その他」の理由	内容を踏まえた対応案
1	利用定員が訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				
2	職員の配置数は適切であるか	100%				
3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定との振り返り）い、広く職員が参画しているか	50%	25%	25%	・概ねできていると思うがスタッフの勤務形態により参加してもらえない工夫が必要と感じる。	・必要な課題については都度ミーティングで検討していますが、振り返りが十分でないこともあるため、毎回のミーティングで前回の内容の状況確認をするようにします。 ・ICTを活用してミーティング内容の共有、議題出しをどの
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%				
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25%	50%	25%		・現在第三者評価は行っていません。法人内の他事業や他機関からの見学、学生の実習の受け入れ等を行い、風通しの良い事業所であるよう努めております。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%				
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	25%	25%	・事業内独自のシートを使用している。	・標準化されたツールは使用していませんが、モニタリングの際に個別支援計画に設定された支援内容に必要な範囲の発達状況の確認を行っています。
11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	75%	25%			・今年度、人員の状況により一部クラスで個別支援計画の更新を見送り、減算を適用した期間がありました。現在は解消し、ガイドラインに準じた個別支援計画の作成を全クラスで行っております。
12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	75%	25%			・上記の通り、一時期個別支援計画の更新を見送っていたため、その間に計画書の内容とお子さまの状況が異なっていた場合は現状に即した支援を行ってまいりました。
13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				
14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				
15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	75%	25%			・クラスによっては個別の時間がない場合もあります。お子さまの状況に応じて、集団活動の中で個別的な対応はいたしております。
16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%			・送迎に出ている職員や勤務時間が短い職員は打ち合わせに参加できないことがあるため、打ち合わせ内容を確認できるようホワイトボードやICTを活用します。
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75%	25%			・⑩と同様です。
18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				
19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%			・⑩に記載の通り、今年度は一部クラスで個別支援計画の更新を見送っていたため、その間はモニタリングを中止してまいりました。現在は再開しています。

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				
21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	75%		25%		・必要に応じて。
22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%				
23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%				
24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	75%		25%		・必要に応じて。
25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	75%		25%		・必要に応じて。
26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%				
27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	25%	25%	・クラスにより実施しているが、望まないご家族もいるため任意としている。	・幼保との併用の場合は幼保への登園や行事参加を優先できるよう配慮しています。また、法人やクラスのイベントで法人内の保育園との交流を実施しました。
28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%				
29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	25%	25%	50%	・心理士の配置がないため、プログラムではなく相談援助として行っている。	・トレーニングやプログラムとしては実施していませんが、アプリや電話相談を活用してできるだけ速やかにご相談対応ができるよう努めております。
31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				
32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	50%	25%	25%	・個別支援計画は説明しているが、ガイドラインは説明していない。	・ガイドラインについては説明していないため、法改正に合わせて再度周知いたします。また、相談室にガイドラインを備えて、重要事項説明の際にご家族にご覧いただけるようにいたします。
33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				
34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25%	50%	25%	・クラスによっては実施している。	・今年度は動ける気管切開児の親子交流会を実施しました。次年度は参観時にご家族同士で交流できる形にする等、ご希望に応じて繋がり作りができるよう支援します。
35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				
36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75%		25%	・定期的ではないが、随時アプリで発信している。	・クラスにより運用が異なりますが、年間予定表、アプリ、連絡帳で活動概要や行事予定を発信しています。
37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%				
38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25%	25%	50%	・行事としては実施していないが、散歩等で地域と交流することがある。	・他事業所からの見学や実習生の受け入れ等行ってきましたが、地域にお住まいの方との交流は十分でないため、次年度は地域の方向けの見学会を開催を企画します。
40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	75%		25%	・マニュアルの詳細については保護者には説明していません。	・各マニュアルは策定していますが保護者に周知していないため、契約時に説明できるよう整備します。

41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				
42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%				
43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				
44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%				